真砂満議員に対する議員辞職勧告決議

平成２４年３月２７日、真砂満議員は泉南清掃事務組合議会臨時会を欠席し、指定暴力団組長が参加するゴルフコンペでプレーしていたことが明らかになった。

議員は市民全体の代表者として、市政に携わる機能と責務を深く自覚し、市民の信頼に値するより高い倫理的義務に撤し、地方自治の本旨に従ってその使命の達成に努めることは言うまでもない。

泉南市では昨年、小学校プールで一般開放中に、児童死亡事故が起こった。いま、行政だけでなく、議会も市民の信頼を回復するため、全力を尽くすことが求められている。しかし、真砂満議員の行為は、信頼回復のための行政や議会の努力を踏みにじり、議員の信頼を失墜させるものである。

大阪府において、平成２３年４月には、暴力団排除条例が制定されたことにより、社会的にも暴力団との交流が禁止されていることは、本市議会でも取り上げられ、真砂満議員も十分に認識していたはずである。

このような状況のなか、真砂満議員の行為は、軽率であったと済まされるものではない。

よって、本市議会は、自浄能力を発揮し、市民からの信頼を回復するために、真砂満議員に対し、自ら泉南市議会議員の職を辞することを勧告する。

以上、決議する。

平成２４年６月２６日

泉 南 市 議 会